

〔中臣氏系圖〕中臣糠手子大連公生二男○中

二男中臣朝臣許米被賜朝臣姓阿閉神田臣之女腹

右太政官○中貞觀二年九月二日下省○民部符僞得散位從八位上中臣朝臣福成解僞福成本自負

中臣姓供仕公途既經年序而去齊衡三年十月廿日中臣氏人等稱非同族即申官除弃籍帳已了厥

後福成忽焉失姓愁吟之至莫甚於斯望請殊沐恩澤蒙賜惟岳宿禰姓依舊被編右京九條二坊謹請

官裁者右大臣宣奉勅依請者省宜承知依宣行之者自此之外曾無愁申之人然則件許米子孫之外

不可有中臣朝臣姓

〔日前國懸兩大神宮書立上〕紀氏國造元本之事

紀氏は國造家元本ニ而京家之紀氏は國造家より後に出來候ものに御座候景行天皇御時屋主

忍男武雄心命を紀伊國に遣して神祇を祭らしめ給ふ時武雄心命阿備柏原に留りて國造第六

代宇遲比古の娘影姫を娶て武内宿禰を生候事日本紀古事記等に相見候而京家之紀氏は武内

宿禰を以元祖と致候事にて國造家の紀氏とは別流に御座候但し前條之通奉世○三十八に男

子無之故聳行義を養子として家督致し候て國造職勅任有之候行義は武内宿禰より廿一代之

苗裔に付此時初而京家之紀氏と血脈相交申候紀氏大系圖に行義は紀伊日前宮國造始也と有

之候は誤に而御座候

〔類聚名物考姓氏三〕父子姓戸を異にす

父子なれども姓とかばねと同じからざる有但し後世の養子義子の姓を冒すが如くならずか

ばねも姓も時として天子の特命にて改め玉ふ事あればなり

〔續日本紀文武〕二年八月丙午詔曰藤原朝臣足所賜之姓宜令其子不比等承之但意美麻呂等者

緣供神事宜復舊姓○中焉

同宗異姓